

名称

昭和の町役場

Town office(AD1950)

作品のモデルとしたのは、東京都府中市の府中の森博物館の中で保存・公開されている旧府中町役場です。本作にはオマケとして昭和30年代の乗用車を付けています。

蒸気機関車や三輪自動車が似合うような建物となっています。



所在地

モデルとなった旧府中町役場

兵庫県内の同時代の役場

モデルとなった旧府中町役場を写真で紹介！



旧篠山町役場(兵庫県丹波篠山市)
大正11年11月の上棟式後、翌12年4月から平成4年3月までの約70年間の篠山町役場として使われていました。今は丹波篠山大正ロマン館として土産物販売やカフェとして使われています。



庁舎の車寄せ

町長室



1階事務室

2階会議室

旧柏原町役場(兵庫県丹波市柏原町)
柏原町は織田信長の直系の子孫が幕末まで治めた陣屋町です。役場として平成16年まで使用されたほか、近年まで市役所の支所として使われてきました。
かいばら1番館と名を改め、観光施設としてまた市民の憩いの場として活用されています。



1階宿直室・小使室

湯呑室